

また、すべての町民が性別にかかわらず平等な機会の下、寛容な社会の中で幸せに暮らすことができるよう、「八雲町ジェンダー平等プラン（第3次八雲町男女共同参画プラン）」の推進に向けて取り組んでまいります。

(3) 情報・広報体制の充実

行政サービスの充実と町民の利便性の向上を図るため、引き続きDXの推進に努めてまいります。

また、議会の効率的な運営とペーパーレス化等推進のため、議員全員にタブレット端末の導入を行い、議案等審議の効率化と情報共有の高度化を図ってまいります。

熊石地域では、IT活用のための知識や技術習得の講座等を開設し、引き続きデジタルリテラシーの向上推進を図ってまいります。

(4) 行財政の強化

「ふるさと応援寄附金奨励事業」については、全国から寄附をいただき、各種事業の財源として活用させていただいておりますが、令和7年度の寄附額は、令和6年度と比較し大きく減少していることから、新たな返礼品となる商

品の開発や掘り起こしを進め、八雲町の魅力を発信するPR活動を行うとともに、町外法人に対しては、八雲町の地方創生活動をPRしながら、「企業版ふるさと納税」の取組を推進してまいります。

ふるさと応援寄附金奨励事業による寄附金は、町の貴重な自主財源の一つであります。寄附者の行動変化や返礼品事情などにより寄附額に影響を受けやすい不安定な財源であり、臨時的収入であるということを変更して認識する必要があります。

このことから、「ふるさと応援基金」に依存した財政運営とならないよう今後の財政見直しを考慮し、「今必要な事業なのか」「将来の投資事業であるか」を見極めて厳選集中投資を基本とし、事業の見直しや事業実施年度の平準化を図るとともに、経費節減による歳出の抑制に努め、堅実で持続可能な財政運営を推進してまいります。

また、多様化する町民ニーズや目まぐるしく変化する社会情勢に対応していく中で、限りある行財政資源の効果的な活用が求められていることから、職員一人ひとりが創意

工夫して業務改善に取り組んでまいります。

人材は組織の基本であることから、「職員のモチベーションアップと能力向上」を目的とし、職員研修を充実させ、組織の活性化を図りながら、職員のやる気、能力向上に努めてまいります。

(5) 広域行政の推進

南北海道定住自立圏の取組や、北渡島檜山4町地域連携事業につきまちは、スケールメリットを活かし、引き続き圏域一体に及ぶ効果的な機能の充実、施策を推進してまいります。

令和8年度 教育行政執行方針について

令和8年度の教育行政執行方針を、町HPに掲載していますので、ぜひご覧ください。



町HP

八雲町役場新庁舎建設にかかる今後の予定について

新庁舎建設事業にかかる今後の事業方針については、先月号の広報にてお知らせしておりましたが、改めて役場新庁舎の基本・実施設計業務を行うための予算が令和8年度一般会計補正予算として可決されました。

今後は役場庁舎、保健センターおよび子育て関連施設の複合化と、延べ床面積は4,500㎡程度と想定し、令和12年度までの完成を目指し取り組んでまいります。

なお、今年度の作業については、下記のとおり予定しています。

【今後の予定】

- 基本設計と実施設計は期間短縮を図るため一括発注し、すみやかに設計業者を選定のうえ、令和8年度から9年度にかけて作成します。
- 基本設計業務の中で、新しい庁舎の外観や配置計画、平面計画の案がまとまり次第、町民説明会などを開催し、皆様のご意見をお伺いします。
- 基本設計案がまとまった際にはパブリックコメントを実施し、改めて皆さまのご意見をいただく予定です。
- 庁舎建設事業とは別事業とする「公民館機能」の移転については、シルバープラザの活用を想定し、公民館およびシルバープラザの利用団体と意見交換を行いながら、施設の整備内容などについて検討を進めていく予定です。

【問い合わせ先】

総務課 新庁舎建設推進室

電話 0137-62-2111

Mail soumu@town.yakumo.lg.jp